



2017年度 第3回

『CVC研修会』開催のお知らせ

CVC・PICCの安全管理・教育体制の構築に携わる方へご回覧ください！

認定病院患者安全推進協議会では、中心静脈カテーテル留置術（CVC）の安全確保を目指し、継続的に活動を行っています。

今年度も安全なCVCを普及させるために必要な院内の管理・教育体制を構築するためのノウハウを身につけて院内で広めて頂くための研修会を開催します。



日時

2017年12月1日（金） 9：00～17：00

※今年度の開催実績・予定は裏面に記載

場所

日本医療機能評価機構 9階ホール（東京都千代田区）

対象

院内でCVCに関する安全管理・教育体制の構築に取り組まれている、または、これから取り組まれる方

※想定する臨床経験年数：7年以上（目安）

4～5名の小グループによる研修

- デモやハンズオン（交差法、平行法等）による標準的手技の確認
 - 講義やグループワークを通じたCVCに関する安全管理・教育体制の構築に必要な知識・手法※の検討・共有
- ※CVC・PICCに関する標準手技、合併症、安全管理・教育体制の展開方法など

形式・内容

定員

20名（1会員病院につき1名様まで）

参加費

¥ 40,000（消費税、昼食代込）

※お振り込みいただいた参加費は返金いたしませんので予めご了承ください。

受付期間

2017年10月18日（水） 10:00～10月24日（火）

※申し込み多数の場合は**抽選**となります。受付終了後、2週間以内に抽選結果をお知らせします。

※当協議会ホームページ(<https://www.psp-jq.icqhc.or.jp/>)「セミナー一覧」画面よりお申し込みください。申し込みには会員専用サイトへのログインが必要です（要ID、パスワード）。

お問い合わせ

(公財) 日本医療機能評価機構 教育研修事業部 大鹿・木村 TEL **03-5217-2326**（直通）

いただきました個人情報は当機構の個人情報保護方針に基づき、適切に管理いたします。

『CVC研修会』プログラム

午前の部

(9:00~12:10)

- 開会
- 講義（中心静脈穿刺に必要な解剖、警鐘事例 等）
- エコー体験
- 交差法・平行法デモ、ハンズオン

ランチョン

(12:10~13:10)

- 「PICC」
- 「穿刺器材から見たCVC 合併症の防止」

午後の部

(13:20~17:00)

- PICCデモ、ハンズオン
- 講義「安全管理体制について」
- ワークショップ＜グループワーク形式＞
- 閉会

※進行予定や協議時間等については予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

◆予定講師（五十音順・敬称略）

◎ = 座長

網代 洋一 （国立病院機構 横浜医療センター 循環器内科 部長）

上野 正紀 （国家公務員共済連合組合会 虎の門病院 消化器外科 部長）

西條 文人 （独立行政法人労働者健康福祉機構 東北労災病院 外科 副部長）

鈴木 利保 （東海大学医学部附属病院 副院長）

徳嶺 譲芳 （杏林大学医学部 麻酔科学教室 教授）

長谷川 隆一 （筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 水戸協同病院 救急・集中治療科 准教授）

三木 保 （東京医科大学病院 副院長 医療の質・安全管理学分野 主任教授）

◎米井 昭智 （公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 院長補佐 医療安全管理室担当）

萬 知子 （杏林大学医学部 麻酔科学教室 主任教授）

渡部 修 （JA長野厚生連 佐久総合病院 救命救急センター 副部長）

◆今年度の開催実績・予定

	日時	会場	受付期間
第1回	2017年7月28日(金)	東北大学 クリニカル・スキルス・ラボ（星陵キャンパス）	終了
第2回	2017年9月22日(金)	日本医療機能評価機構 9階ホール(東京千代田区)	終了
第3回	2017年12月1日(金)	日本医療機能評価機構 9階ホール(東京千代田区)	10/18~ 10/24
第4回	2018年2月2日(金)	日本医療機能評価機構 9階ホール(東京千代田区)	12月頃